

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市向陽台児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 34,613人（前年度比 88.5%）          平成29年度 39,124人          平成28年度 32,531人          平成27年度 25,316人</p> <p>《事業》          児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 39,508千円 （ 40,962千円）</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円）</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 （ 0千円）</li> <li>・ その他収入 0千円 （ 0千円）</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、3年生以上が安全マップをもとに街探検を行い、危険な場所を確認し低学年に報告するなど、地域を知り、安全に関する自己管理能力を身に付けられるよう援助している。自発的な遊びの発展を支援し、社会性、創造性を育てているほか、児童クラブの子どもが高齢者施設を訪問交流するなど、活動を地域の中に広げる取り組みを行っている。高学年対象の活動を充実させるとともに、利用しやすいような配慮をすることで、自由来館の増加につながっており、地域の多くの子ども達に居場所、交流の拠点として利用されている。	18/18

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

### 四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>“魅力的な活動とたくさんの出会いがある児童館”を目指して、一人ひとりの利用者との関係を大切に、利用者のニーズを踏まえた活動、地域の協力を得た魅力的な企画を念頭に運営してきました。</p> <p>乳幼児親子事業では、定例行事や幼児クラブの活動を通して親子同士の交流を深めることを大切に、また、乳幼児専用の新たな遊び場として「すまいるテラス」をオープンしたことで、地域の親子の居場所として、いつでも安心して来ていただけるようになりました。さらに「ママのハッピープラン」では、ママたちが4つの行事を企画、実現しました。ママのアイデアを活かした企画は、同じ母親である利用者の感覚を捉えたもので、大変好評でした。</p> <p>小学生事業では、日常活動の充実を図る「あそびのポケット」や「ダンス活動」、また「移動児童館」や高学年のスタッフ活動を通して、遠隔地や高学年の小学生にも活動をPRすることができました。さらに、学校帰りに行事に参加することを可能にした“よりみちパスポート”の導入により、自由来館の利用が大幅に増えました。その他、地域の協力を得た幅広い活動や、高齢者施設、老人憩の家への訪問交流、また囲碁ボランティア等、地域の協力者の開拓を推進して、活動の充実を図りました。多様な活動、異年齢、異世代との交流は、子どもたちの心豊かな成長につながっています。</p> <p>中学生については、利用しやすい環境作りを行うとともに、ボランティア活動の支援に力を入れ、貴重な社会経験の場を多く提供することができました。自由来館も昨年の倍に増えました。</p> <p>3年目の「地域カルタ制作」では、読み句募集に幅広い年代から応募があり、5作品が採用されました。中学校美術部に絵札制作を、地域の方に読み札制作を依頼するなど、地域の様々な人たちが関わって制作が進められています。地域の方々のご協力により、充実した活動を提供することができたと考えています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童館だよりのほかに、乳幼児親子、小学生、中学生、地域向けチラシを作成し、小・中学校に全校配布するなど丁寧な情報提供に取り組んでいる。「とり+かえっこ」「児童館まつり」「餅つき会」「地域探検・ホテル観察会」等は、中・高生ボランティアや、おやじの会、子育て支援クラブ等の協力を得て実施し、世代間交流の場となっている。平成30年度は新たに小学生の囲碁を通じた老人憩の家への訪問交流を行うほか、地域かるたの製作、地域行事への参加など、地域と交流を図り連携した運営に取り組んでいる。</p> <p>乳幼児や保護者を対象にした活動では、参加者同士の交流の場や、保育所子育て支援センター、地域保育所、区家庭健康課等と連携して育児情報や気軽な相談の場を提供している。また、保護者サークルの自主的な活動を支援するほか、児童館から離れている地域で実施する社会福祉協議会子育てサロンへの協力など、子育て家庭の支援活動を実施している。学校振替休業日には、中学生ボランティアを募り日常遊びの中で乳幼児親子と交流の場を設けている。</p> <p>児童クラブの登録児童数が多い地域ではあるが、児童館の持つ機能を発揮し児童館と児童クラブのそれぞれの活動の充実にも努めている。地域の子どもの居場所、子育て交流の拠点として、利用者同士をつないでおり評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室